

2019 年度 第 1 回常任理事会：議事録

日 時：2019 年 6 月 8 日(土)14 時 00 分～18 時 00 分

場 所：日本体育大学 2306 教室

出席者：藤田主一（理事長）、古屋健（副理事長）、
市川優一郎、臼井伸之介、角山剛、
軽部幸浩、木村友昭、田中真介、
外島裕（以上、常任理事）

事務局：市川優一郎（事務局長）、軽部幸浩（幹事）
（敬称略、五十音順）

報告事項

1. 理事長挨拶

- ・理事長より、出席された常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

2. 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会（軽部幸浩委員長）

- ・査読中論文については、原著 8 本、資料 3 本、実践報告 1 本、短報 3 本の計 15 本が審査中である。
- ・『応用心理学研究』第 45 巻 1 号は、原著 5 本、資料 2 本の論文が掲載予定である。
- ・『応用心理学研究』表紙の色の順番は、第 44 巻（青色）、第 45 巻（紫色）、第 46 巻（赤色）、第 47 巻（黄色）、第 48 巻（緑色）の順で変更していく。第 49 巻は「青色」に戻り、同じ順序を踏襲する。
- ・機関誌に「機関誌事務局だより」を追加する。第 45 巻 1 号から、『応用心理学研究』投稿前チェックリストを掲載する。
- ・J-STAGE センターから初回登載について問合せがあり、「8 月までに初回登載を済ませる」と連絡した。

2) 企画委員会（臼井伸之介委員長）

- ・第 86 回大会での「研修会」は次の通りである。
 - 研修会 A インターネット上の言説の分析：偏見・差別研究を題材に
 - 研修会 B PAC 分析の理論と実践
- ・公開シンポジウムは、企画と司会を桐生正幸氏にお願いし、「妖怪と心理学（仮）」というテーマで、東洋大学にて開催する

予定である。日程は未定である。

3) 広報委員会（田中真介広報委員長）

- ・『応用心理学のクロスロード』第 12 号の編集は、川地亜弥子氏が担当する。

4) 「応用心理士」認定審査委員会（代理：市川優一郎事務局長）

- ・特になし。

5) 国際交流委員会（角山剛委員長）

- ・学会ホームページに、ICAP2018 で発表した研究の論文投稿に関する内容を掲示する。

6) 学会賞選考委員会（優秀大会発表賞を含む）（木村友昭委員長）

- ・6 月 29 日に学会賞選考委員会の開催を予定している。

7) 学会活性・研究支援委員会（古屋健委員長）

- ・選考結果を学会ホームページに掲載する。
- ・応募基準の見直しを視野に入れて検討している。

8) 齊藤勇記念出版賞選考委員会（外島裕委員長）

- ・選考基準の変更について検討している。

9) 倫理委員会（古屋健副理事長）

- ・特になし。

10) 学会史編纂委員会（藤田主一理事長）

- ・インタビューの文字起こしを順次進めている。

3. 日本心理学諸学会連合について（外島裕担当常任理事）

- ・6 月 16 日（日）に社員総会が開催される。

4. 心理学検定について（代読：市川事務局長）

- ・7 月 14 日（日）に全国会場担当者会議が開かれる。
- ・第 12 回検定は、8 月 18 日（日）に実施予定である。
- ・第 86 回大会プログラムに、2020 年度第 13 回心理学検定の広告を掲載する。
- ・日心連理事長より、本学会を含めた加盟学会の大会プログラムに、心理学検定の広報を掲載してほしい旨の依頼があった。

5. 第 86 回大会について（外島裕大会委員長）

- ・大会発表等の件数は、ワークショップ6件、口頭発表10件、ポスター発表68件、教育発表5件である。
- ・大会前日、大会初日、大会二日目のタイムスケジュール（予定）が示された。
- ・大会企画シンポジウムは、「グローバル人材の育成 ―大学での留学制度の關葉からグローバル・コンピテンシーへの発展―(仮)」を予定している。

6. 公認心理師養成大学教員連絡協議会について（藤田主一理事長）

- ・公認心理師養成大学教員連絡協議会の略称は「公大協」である。
- ・公大協の目的は、「各養成大学の相互連携のほか、公認心理師制度に関する政策提言や、資格制度の根幹をなす心理学の学術的發展、公認心理師の質保証に貢献するための活動を行う。」である。

7. 『応用心理学ハンドブック』について（藤田主一理事長）

- ・福村出版から、原稿は8割ほど集まっていると連絡があった。

8. 名誉会員の推挙について（藤田主一理事長）

- ・名誉会員候補者（谷口泰富氏）から履歴書が提出された。

9. その他

- ・なし。

審議事項

1. 2018年度決算に関する件（市川優一郎事務局長）

- ・決算案が開示されたが、継続審議となった。

2. 2019年度予算に関する件（市川優一郎事務局長）

- ・予算案が開示されたが、継続審議となった。

3. 過去の決算書・予算書の掲載に関する件（藤田主一理事長）

- ・今後、「学会決算書」、「学会予算書」、「大会決算書」は、学会ホームページに公開する。
- ・過去3～4年の「常任理事会議事録（含：予算書、決算書）」を公開する。

4. 年会費の引き落としに関する件（市川優一郎事務局長）

- ・次回の常任理事会で、IBIの吉廣社長に説明

していただくことが承認された。

5. J-STAGE 登載に関する件（軽部幸浩常任理事）

- ・『応用心理学研究』は、第44巻1号～3号に登載すること、登載のための作業は、次年度に入ってから行うことが承認された。
- ・過去の論文については、学会ホームページに順次公開していくことが承認された。
- ・『大会発表論文集』は、J-STAGEに登載しないことが承認された。

6. 新入会員審査および会員異動に関する件（市川優一郎事務局長）

- ・2019年6月5日現在の会員異動

➤ 入会者：31名、退会者：18名、会員合計：1,186名である。

次回の常任理事会は、2019年7月28日（日）に、日本体育大学で開催する。

以上

2019年度 第2回常任理事会：議事録

日 時：2019年7月28日（日）14時00分～18時00分

場 所：日本体育大学 2306 教室

出席者：藤田主一（理事長）、古屋健（副理事長）、市川優一郎、白井伸之介、角山剛、軽部幸浩、木村友昭、外島裕

（以上、常任理事）

佐々木美智子（広報委員会副委員長）

事務局：市川優一郎（事務局長）、軽部幸浩（幹事）

（敬称略、五十音順）

報告事項

1. 理事長挨拶

- ・理事長より、出席された常任理事の先生方へ感謝の言葉が述べられた。

2. 各委員会報告

1) 機関誌編集委員会（軽部幸浩委員長）

- ・資料に基づき、論文投稿数、審査状況の説明があった。
- ・『応用心理学研究』第45巻1号の目次が回覧された。
- ・J-STAGEへの機関誌論文公開については、第86回大会までに公開することで作業を進めている。

2) 企画委員会（白井伸之介委員長）

- ・学会研修会について報告があった。
 - ・未定となっていた「公開シンポジウム」の話題提供者が確定した。
 - ・「公開シンポジウム」は、11月30日(土) 13時30分から東洋大学で開催予定である。
- 3) 広報委員会(代理:佐々木美智子副委員長)
 - ・『応用心理学のクロスロード』第12号の編集担当は、川地亜弥子氏(神戸大学)である。
 - ・常任理事に対し、第12号に含めてほしいコンテンツがあるかどうか尋ねられた。
 - 4) 「応用心理士」認定審査委員会(代理:市川優一郎事務局長)
 - ・特になし。
 - 5) 国際交流委員会(角山剛委員長)
 - ・ICAP2018 英文特集号の論文投稿数は、4論文であった。
 - 6) 学会賞選考委員会(優秀大会発表賞を含む)(木村友昭委員長)
 - ・規程の見直しを考えている。
 - 7) 学会活性・研究支援委員会(古屋健委員長)
 - ・規程改訂を考えていたが、本年度は現行規程をそのまま踏襲することになった。
 - 8) 齊藤勇記念出版賞選考委員会(外島裕委員長)
 - ・記念出版賞の選考基準について、今後、齊藤勇先生のご意向を伺いながら再検討する。
 - 9) 倫理委員会(古屋健副理事長)
 - ・特になし。
 - 10) 学会史編纂委員会(藤田主一理事長)
 - ・広報委員会より『応用心理学のクロスロード』への原稿依頼があったときは、対応する。
3. 日本心理学諸学会連合について(外島裕担当常任理事)
 - ・「公認心理師について」のアンケート集計結果が回覧された。
 - ・「2019年度第1回社員総会議題」,「出席者一覧」,「社員の交代」,「2018年度事業報告」,「正味財産増減計算書」,「2019年度事業計画」について説明があった。
 - ・12月15日(日)に、「公認心理師」に関するシンポジウムが東京大学で開催される。
 4. 心理学検定について(代読:市川事務局長)
 - ・資料に基づき、第12回心理学検定の申込状況について説明があった。
 - ・日本心理学会第83回大会(立命館大学)におけるシンポジウムの紹介があった。
 - ・第13回心理学検定は2020年8月23日(日)に実施予定である。
 5. 第86回大会について(外島裕大会委員長)
 - ・自主企画ワークショップ、口頭発表、ポスター発表の件数についての報告があった。
 - ・大会のタイムテーブルについての報告があった。
 6. 『応用心理学ハンドブック』について(藤田主一理事長)
 - ・原稿が揃ったところで、編集委員会を開催する予定である。
 7. 賛助会員の問い合わせについて(市川優一郎事務局長)
 - ・7月28日に学会ホームページへのバナー広告、リンク作成を前提として新規に賛助会員の問い合わせがあった。事務局長が賛助会員の趣旨について連絡・説明したところ、今回は賛助会員の申し込みを見送るとの返答があった。
 8. その他
 - ・特になし。
- 審議事項
1. 2018年度決算に関する件(市川優一郎事務局長)
 - ・決算書(案)が承認された。8月上旬に監事の監査を行う予定である。
 2. 2019年度予算に関する件(市川優一郎事務局長)
 - ・予算書(案)が承認された。
 3. 学会賞の選考に関する件(木村友昭委員長)
 - ・学会賞(論文賞)は「該当なし」とのことで、承認された。
 - ・学会賞(奨励賞)に「看護学生の正確な指示受けのためのソーシャルスキルトレーニング—臨地実習で直面する困難状況を課題場面とした医療安全教育の試み—」(『応用心理

学研究』第44巻1号に掲載)が推薦され、承認された。

4. 未掲載の議事録に関する件(藤田主一理事長)
 - ・「学会決算書」,「学会予算書」,「大会決算書」は、今後、学会ホームページに掲載することが承認された。
5. 年会費の引き落としに関する件(市川優一郎事務局長)
 - ・年会費の納入方法に、「口座引き落とし」を加えることが承認された。
6. 新入会審査および会員異動に関する件(市川優一郎事務局長)
 - ・審議の結果、申請者全員の入会が承認された。
 - ・2019年7月25日現在の会員異動
 - 入会者：9名，退会者：1名，会員合計：1,194名である。

次回の常任理事会は、2019年8月25日(日)に、日本大学商学部で開催する。

以上

会員異動

(2018年12月21日～2019年6月10日の異動)

入会者

伊藤 敦史	桑名 美保	佐藤 大輔
穴戸 唯人	遠藤 さやか	佐藤 裕基
湯山 祥	奥西 有理	白井 真菜美
陣内 聡	杉田 明宏	田宮 憲
刁 雨凡	藤井 公明	

(以上，敬称略)

退会者(希望退会)

小松 紘	殷 雅平	李 運
劉 双	井上 吾一	神原 歩

(以上，敬称略)

謹弔

名誉会員の坂野登氏(1933.12.15-2019.9.2)が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。